

コード	60103
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	効率的、効果的な財政運営と役場のスリム化
--------	----------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	参加と行政による協働のまちづくり
施策名称	行財政の効率化の推進

課コード	107	関係課名	総務課
主管課名	財政課		

基本事業の目的

自主財源確保のため、徴収体制強化、使用料等の見直しを行うとともに、外部委託の推進や民間活力導入など経費の削減を行い、効率的・効果的な財政運営と事務事業の見直しを図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	公債費残高（普通会計）	成果指標名称 2	基金（積立金）残高
成果指標の積算根拠	公債費残高（計画）	成果指標の積算根拠	基金積立額(計画)
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	25,665百万円	目標達成数値	6,359百万円

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	百万	34,431	32,523	31,227	29,985	27,999
	実績 B		百万	34,372	32,117	30,693	29,067	
	達成率 B/A		%	100.2	101.3	101.7	103.2	
成果指標 2	目標 A	単位	百万	2,688	2,367	2,373	3,709	4,143
	実績 B		百万	2,822	3,089	3,678	4,491	
	達成率 B/A		%	105.0	130.5	155.0	121.6	

1次評価	現状	財政健全化計画及び実施計画に基づき自主財源確保のため徴収体制の強化や公債費の縮減のため繰上償還の実施等推進してきたことにより危機的な財政状況からは脱した。平成23年度から新たな財政適正化計画により更なる財政運営の健全化を目指す。
	課題	今後、消防デジタル防災行政無線整備事業や奈良尾小学校建設事業等の事業を控え、各種財政指標を監視しながら、新たに策定した財政適正化計画に基づき健全な財政運営を図ること。
	改善	毎年の決算の状況により財政適正化計画の整合性・見直しを行っていくこと。震災後の国の状況によっては交付金、補助金等の動向に不安があるが可能な限り繰上償還等を行っていく。

2次評価	財政状況については、十分監視しながら、健全化を維持すること。また、財政状況は住民への公表等説明責任を果たしていくこと。今後、職員数の減による事務事業の見直しが必要になってくるが、住民サービスの低下にならないよう全課連携し推進すること。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。